



プラネタリウム 一分間イメージ調査

日本天文学会年会
天文教育
フォーラム用調査

大阪市立科学館
学芸員 渡部義弥

日本天文学会秋季年会の天文教育フォーラムでは「21世紀のプラネタリウム利用を考える」というテーマで討議がもたれます。そのさいの資料とするため、プラネタリウムが、世代別、業種別にどのようなイメージをもたれているかを調べています。

下記には、それぞれプラネタリウムと、そこで働く人についてのキーワードを並べました。それぞれのわくごとにキーワードを選び、右らんに番号をかきこんでください。

キーワード

もっともあてはまる・近いもの1つを選び、右のらんに番号を書いて下さい

▽記入らん

プラネタリウムに行くとしたら、何のためですか？

星の勉強をする 話を聞いて楽しむ リラックスする
ふんいきを楽しむ なんとなく行く



プラネタリウムはどんな場所？

ロマンチックな ねむいところ 楽しいところ
しずかなところ びっくりするところ 頭をつかうところ



プラネタリウムは何がやれそうですか？

星や星座が見られる 科学の話が聞ける 天文研究ができる
いい音と映像が出せる くつろぐ環境がある 神話が聞ける



プラネタリウムはどんなところに似ていますか？

映画館・劇場 博物館 ホテル 広場・公園 学校 デパート



プラネタリウムはどんな人が動かしているでしょう？

機械だけでだれもない 星のことを教えてくれる人
ふんいきを作ってくれる人 子どもの相手をしてくれる人



プラネタリウムではどんな人が働いていますか？

ロマンチスト ふつうの人 たくましい人 やさしそうな人
頭がよさそうな人 きちんとした人



プラネタリウムで働く人は、何ができそうですか？

特に何もできない 機械を動かすのがうまい 科学研究
教えるのがうまい 星のことをよく知っている



プラネタリウムで働く人と、にている人は？

電車の運転手 アナウンサー 天文学者
学校の先生 バスガイド タレント・芸人



ご協力ありがとうございました!